





マイナビグループ行動計画振り返り 52期(2023年10月~2024年9月)

マテリアリティ	コミットメント	52期KPI (2023年10月~2024年9月)	具体的な取り組み	アクションプランに 対する自己評価	52期実績 (2023年10月~2024年9月)	52期実績(2023年10月~2024年9月) 主な取組みとハイライト
気候変動への対応 	CO2排出量削減	自社のCO2排出量 (22年10月~23年9月)を把握 (マイナビ本体のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン排出量(23年10月~24年9月)の把握 ・照明のLED化 ・大規模オフィスでの消灯自動化 ・オフィス内への植栽設置推進 ・各種制作物のFSC認証紙化 ・ペーパーレス化の促進 ・社内サイネージ設置 ・押印書類、新規支払先登録電子契約の推進 ・クールビズ・ウォームビズの推進 ・エコマーク等環境配慮型商品の採用 ・廃棄物の削減・購入品の削減 ・ごみの分別によるリサイクルの促進 	◎	CO ₂ 排出量:1385.17t-CO ₂	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナビ本体全拠点の電力使用量とガソリン使用量を把握し、CO₂排出量を算出。 (CO₂排出量削減に向けた具体的な取組みに関しては下記の通り) -照明のLED化、都内大規模オフィスでの消灯自動化 -オフィス内への植栽設置の推進 上記、都内大型3拠点にてほぼ100%で達成。 ・社内サイネージを全拠点にて設置し、押印書類、新規支払先登録電子契約を促進するための勉強会などを実施する事でペーパーレス化を促進した。 ・その他、クールビズ・ウォームビズやごみの分別によるリサイクルを促進し、社内向けの啓蒙活動を行った。
	環境の教育・啓発活動	環境e-learning受講率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・e-learningの受講促進 ・環境問題に関する啓発活動 	◎	環境e-learning受講率:93% (51期受講率:75.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境e-Learningはグループ含む全従業員80%の受講率を目標とし、結果93%を達成。 ・その他啓発活動の一環として 気象予報士 森田正光氏をお呼びし、環境問題に関する講演を実施した。
事業を通じた社会の発展への貢献 	キャリア支援数の向上	キャリア支援をした人数の算出	<ul style="list-style-type: none"> ・長期累計目標の設定 ・キャリア支援満足度の調査 ・マイナビグループ、その他指標の検討 	○	52期キャリア支援をした人数:469万人	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動を通じてキャリア支援をした人数を算出。長期目標設定は51期52期の結果を基に今期中(予定)に確定させる。
ディーセントワークの推進 	安心安全な職場づくり	健康経営優良法人の維持・継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックの活用促進 ・安全衛生教育の実施 	○	「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度も継続して認定取得済み。 具体的な取組みで掲げたストレスチェックの活用促進に関して、継続して法定基準に沿って実施しており、受診率は90%、健康診断の受診率は100%で着地。 ・安全衛生教育の実施に関しては、2024年度 新卒社員向けのセルフケア研修や管理職向けのラインケア研修を実施、今後は対象を広げ効果測定を行っていく。
	ワークライフバランスの促進	福利厚生サービスの利用率60%	<ul style="list-style-type: none"> ・福利厚生サービス(ベネフィット・ワン)の利用促進 ・有給取得の促進 ・休暇、休職制度の改善 	◎	福利厚生サービス登録率:69%	<ul style="list-style-type: none"> ・福利厚生サービスの登録促進キャンペーンを実施して、登録促進を継続して行っている。来期以降は、より有効にサービスが活用されて社員のウェルビーイングの一助となるよう、登録率だけでなく利用率を目標に掲げ、利用率向上に向けて取り組む。 ・有給休暇取得の促進に関しては検討の余地があるが、現状公休日の設定を工夫することなどで運用を進めている。
	会社と個人がより良いパフォーマンスを発揮するための働き方を促進	社員がパフォーマンスを発揮するための働き方に関する課題の洗い出し整備・改善への着手	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方に関する制度の改善・検討と最適化(テレワーク制度) ・働き方に関する制度の改善・検討と最適化(時差出勤制度) ・その他、新たな働き方に関する制度の検討 	○	課題の洗い出しに着手	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワークや時差出勤制度に関しては、長期的に取り組むべき課題であると認識している。今後は、生産性向上という視点を一時的なものではなく、長期的・持続的なものとして捉えた制度運営に向けて検討を進める予定。
人権尊重とダイバーシティの推進 	全社員を対象とした人権理解を深める方針 および施策の立案・実施 ダイバーシティの取り組み強化	人権ポリシーの策定・推進 ダイバーシティを尊重する 文化の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・人権ポリシーの策定・推進 ・相談・通報ホットラインの設置 ・タレントマネジメントによる人材の活躍促進 ・研修によるダイバーシティ理解の促進 	◎	2024年5月 マイナビグループ人権方針(人権ポリシー)を策定 ダイバーシティを尊重する文化の醸成に向けた 取組みの着手	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度9月期より、人権DDに着手した。社外に向けた相談窓口・ホットラインの設置に関してもDDの中で運用を予定している。 ・その他、段階的に社員に向けてサステナビリティと人権尊重に関する研修を開始。 ・52期はダイバーシティに関する企画立案を行い、実施に向けて取り組みを開始した。 ・53期はマイナビ本体への障がい者採用や、ダイバーシティ理解に関するイベントの企画などを検討している。

※基準
◎具体的な取組みを進めており、アクションが達成している
○具体的な取組みを進めているがまだアクションは達成できていない
△アクションプランに着手はしていない

マイナビグループ行動計画振り返り 52期(2023年10月～2024年9月)

マテリアリティ	コミットメント	52期KPI (2023年10月～2024年9月)	具体的な取り組み	アクションプランに 対する自己評価	52期実績 (2023年10月～2024年9月)	52期実績(2023年10月～2024年9月) 主な取組みとハイライト
責任ある企業活動の実施 	情報セキュリティ体制の構築	重大インシデント件数減少 ISMS維持(取得部門についてのみ)	・インシデント対応フローの改善	△	取組みを継続中	<ul style="list-style-type: none"> ・重大インシデント減少にむけて定期的にフローの見直しや改善を実施。 ・52期はインシデントの記録の標準化や広報対応時の意思決定などに着手した。また、Mynavi-CSIRTを構築し社内向けセキュリティ対応を強化している。
			・社内向けのセキュリティサービス提供	◎		
			・他社CSIRTとの連携	◎		
	適切な個人情報の管理	個人情報e-learning修了率 (定量:100%) プライバシーマーク維持	・e-learning学習	○	個人情報e-learning修了率:100% プライバシーマーク維持 継続中	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報e-learningの終了率が2024年9月に100%を達成。 ・役員向け情報セキュリティ研修は企画へ着手しており、53期中に実施完了を目指し進めている。 ・委託先監査の実施に関しては、継続して実施している。リスクが高そうな会社を担当する社員に直接ヒアリングを行っている。
			・役員向け情報セキュリティ研修の実施	△		
			・委託先監査の実施	○		
	コンプライアンス経営の推進	コンプライアンス研修の 目標受講率100% 相談・通報ホットラインの認知率の向上	・継続的なコンプライアンス研修の実施	◎	コンプライアンス研修受講率:100% 「相談・通報ホットライン」の認知率:92.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修に関して、以下項目を継続的に実施。 ①マイナビグループ全役員・従業員に対してe-learningシステムを利用した研修 ②新入社員・新任課長向けなど階層別に応じた研修 ・職場環境に関する調査を継続的に実施。 ・「相談・通報ホットライン」について掲示・案内を適宜行い、周知を実施。
			・職場環境に関する調査の定期的な実施	◎		
	製品の安全性・信頼性の確保	システム起因インシデント件数減少	・脆弱性診断および脆弱性管理の実施	○	取組みを継続中	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の安全性・信頼性の確保に向け、セキュリティレビューの実施やIT-BCPガイドラインの更新・運用などを継続的に実施している。
			・セキュリティレビューの実施	○		
・IT-BCPガイドラインの運用			○			
・社内向けセキュリティサービスの拡充			○			
広告倫理や審査体制を含めた 適切なマーケティングの実施	適切な広告コンテンツの維持 表示に関するトラブルの削減 求人広告審査基準の運用維持	・編集ガイドラインの運用	◎	適切な対応を継続している	<ul style="list-style-type: none"> ・編集ガイドライン・優位性表記のルールに関しては、適切な運用がなされている。また、ステルスマーケティング規制への対応に関しても、適切にルール策定が行われ、法令に沿って適切に運用がなされている。 ・求人広告審査基準の運用に関しては、52期に初めて優良募集情報等提供事業者に認定された。相談窓口設置を含む適切な運用を評価された結果である。 	
		・優位性表記のルール運用	◎			
		・ステルスマーケティング規制の実施	◎			
		・求人広告審査基準の運用(岡田さん)	◎			
		・求職者からの問い合わせ窓口の設置・フローの整備	◎			
リスク管理体制の拡充	リスク管理体制の改善・検討	・リスク管理体制の構築に向けたBCPプロジェクトの推進	◎	BCP体制強化に向けて専属部門を設置	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト目的である、全社業務継続計画(BCP)規程の制定およびコーポレート部門のBIA分析(Business Impact Analysis=ビジネスインパクト分析)を完了。 ・BCP体制の構築に伴い、マイナビグループのリスク事象・危機事象への報告・対応フロー案(旧:重大インシデント・重大アクシデントの報告・対応フロー)を見直し、委員会にて承認済。 	
		・脆弱性診断および脆弱性管理の実施	○			
		・コンプライアンス・リスク管理委員会との連携	◎			

※基準
◎具体的な取組みを進めており、アクションが達成している
○具体的な取組みを進めているがアクションは達成できていない
△アクションプランに手を付けていない